



N: はな て話し手が「ほしい」と思っている対象 おもたいしょう

基 本

例 文

- ① わたしはいま今コンピュータがほしいです。
- ② A: たんじょうび誕生日になに何がほしいですか。
B: あたそうですね、あた新しいじてんしゃ自転車がほしいです。
- ③ (カタログを見ながら)
A: どれどれがほしいですか。
B: これとそれこれとそれがほしいです。
- ④ A: くるま車がほしいですか。
B: いいえいいえ、ほしくないです。

解 説

- A. 「ほしい」は、けいようしイ形容詞。かつよう活用はそのほかのけいようしイ形容詞と同じ。
- B. なに何かおもものがほしいと思はなう話てし手がの願望がを表す。(例文①②③④)
- C. 「Nがほしいですか」「なに何がほしいですか」「どれどれがほしいですか」で、き聞き手ての願望がをたずねる。(例文②③④)
- D. Nがなん何であるかわかっている場合は、ば「Nが」をしょうりやく省略することがある。(例文④)

先生へ

聞き手や第三者の願望を表現することはできない。

「Nがほしいですか」と目上の人に向かって聞くと失礼になる。

「Nがほしいんですが」の形で、必要なものを相手に伝え、提供を求めることができる。この場合、求められるのは特別ではないもの、求める相手は当然提供可能と予想される人。

例 1 A: すみません、白い紙がほしいんですが。

B: はい。

2 A: あのう、赤いボールペンがほしいんですが。

B: はい。

願望の対象がものときは「Nがほしいです」を使うが、願望の対象が行為のときは、「Vたいです」を使う。

【関連項目】

文-06 Aいです / ANです

文-34 Vたいです

【「れんしゅう編」の練習】

3-9 今、何がほしいですか